



スターバックス 2019

グローバル ソーシャル インパクト レポート



ケビン・ジョンソンからのメッセージ

スターバックスのパートナー、お客様、関係者各位

このレポートでグローバル ソーシャル インパクト活動に関する第 19 回の年次の進捗をご報告する傍らで、当社はまた、COVID-19 のパンデミック期におけるパートナー、お客様、コミュニティのニーズを満たすため、可能な限り迅速かつ臨機応変に世界各地の当社のビジネスに大きな変化を加えることが求められる、歴史的に重要な時期にあります。

スターバックスのパートナーは、1 年ほど前には誰も想像もしなかったような方法で、レジリエンスを発揮しています。パートナーたちは、当社の水準を日々高めています。それは、コーヒーでつながるというしきたりを通して、日常の体験に潤いを提供し、人とのつながりを深めることです。

スターバックスの私たち一人一人は、このパンデミックにより恒常的な変化を求められています。私たちがサービスを提供しているコミュニティも同様です。お客様やコミュニティにサービスを提供することが私たちにどれだけ重要であるかを強く認識し、世界をより良い場所にするためのスターバックスの可能性に、新たな視点と反響がもたらされました。この時代は、別の点でも歴史的で、多くのコミュニティが一体となって人種的な不平等に抗議し、社会の有色人種への対応方法について大きな改善の必要性を強調しています。現在の出来事は、明らかに、当社のグローバル ソーシャル インパクト アジェンダを成功させることが今やこれまで以上に重要であることを示しています。

人および地球への投資

数十年前、スターバックスはグローバル ソーシャル インパクト プライオリティのアジェンダを作成しました。大まかに言うと、当社の投資は、営利企業としての当社の役割と人と地球のより良い未来とのバランスを取ることに重点を置いています。

つまり、当社が人々、特に当社のパートナーに投資することにより、今後は彼ら彼女らがサービスを提供しているコミュニティの人々をサポートできるようになります。また、健全な人間生活が健全な生態系に依存していることを認識することにより、当社が天然資源の健全性の向上にも取り組むことにもつながります。その結果として、当社は現在リソース ポジティブ企業になるという長期的な目標を持つに至りました。つまり、排出量よりも多くの炭素を吸収し、使用量よりも多くのクリーンな真水を提供し、廃棄物を削減するということです。

当社は、2019 年度のグローバル ソーシャル インパクトの進展を誇りに思っています。当社は、第三者の [Civil Rights Assessment](#) を初めて実施しました。これについては今後も検討し実施していきます。また、パートナーを第一に考え、全員が歓迎される文化を創造するための取り組みを継続しました。スターバックスのパートナーが生活し働くコミュニティを強化するための取り組みを行い、革新的な助成金、投資、コミュニティ サービス モデルを拡大しました。



シカゴ

また、より環境に配慮したカップ、パッケージ、流通の未来にも投資し、2020 年 1 月には、先駆けてより大きな目標を示しました。当社は、世界的なコーヒー価格の低下の影響を受けている中米の小規模農家を支援するために、2,000 万米ドルの[緊急農家救済基金](#)を分散して給付するなど、コーヒーコミュニティの支援に多大な投資を行いました。

人と地球へのプライオリティに対する当社の取り組み強化の証として、昨年末に、当社初のサステナビリティ部門グローバル責任者となるマイケル・コボリ氏、当社初のインクルージョン & ダイバーシティ部門グローバル責任者となるンジンガ・ショー氏、当社初の倫理およびコンプライアンス部門グローバル責任者となるタイソン・アベリー氏を採用しました。



インドネシア、ジャカルタ

2020 年半ばの現在、世界は変化し、ニーズはさらに増大しています。スターバックスがどのようにして最大限の責任を持って、コミュニティや地球に前向きに貢献できるかについて、引き続き熟考していきます。

私たちが切り抜けようとしている危機は、私たちの世界が小さいことを浮き彫りにしており、だからこそ私たちはその危機に対処し、そしてお互いを大切にする必要があります。私たちは、人類の健康と地球の健康とが相互に依存していることを理解しています。このような観点で多様な声を受け入れることで、さまざまな視点からの意見を聞き、最適な意思決定を行うことができます。COVID-19 は多くの場合社会的・経済的に不利な立場にあるコミュニティに影響を与えているため、将来的には経済格差拡大の脅威になると考えています。

[次のページに続く](#)



ケビン・ジョンソンからのメッセージ

パンデミックの発生以降、当社は迅速に行動を起こし、人と地球へのプライオリティに取り組んできました。当社は、COVID-19 に関する緊急のニーズに対応するために行動しています。詳細な説明および更新内容については、[こちら](#)で確認できます。たとえば、スターバックスは、世界中の直営店舗およびライセンス店舗両方のパートナー向けに、初の **1,000 万米ドルの緊急救済基金**を提供しています。

米国およびカナダでは、パートナーに対して**一時的な手当**を支給し、**フードバンク**により多くの支援を行い、初期対応者および第一線の医療従事者に対して**無料のコーヒー**を提供することができました。スターバックスのパートナーは、他にもタイムリーかつその地域で有意義な方法で、**革新的な取り組み**をしています。**アジアのパートナー**は、病院、非営利団体、地元の警察や保健関係者、その他の現場作業員への食糧やコーヒーの寄付の手配を主導しています。また、世界中のパートナーが感謝の意を表明しています。

パンデミックの間は、再利用可能なカップの使用を中止しなければなりません。しかし、より再利用可能な容器包装に加え、より完全にリサイクル可能で堆肥化可能な容器包装への移行に引き続き取り組み、健康と安全を優先することも保証します。そのためには、当社の専門家や他の多くの提携者によるイノベーションが必要です。



コスタリカのハシエンダ アルサシア コーヒー農園

一方、**スターバックス財団**は、さまざまな組織をサポートするために何百万ドルもの資金を投入し続けており、さらに緊急時に支援が必要な組織にまでサポートを拡大し、その組織の回復とレジリエンスの道筋の構築にも貢献しています。

これが私たちです

スターバックスでは、社会にポジティブなインパクトを生み出すことが深く根付いています。当初から、私たちの目的は利益を超えたところにあります。私たちは良い行いを追求することを信じています。スターバ

ックスはコミュニティにとって人が集まる「第3の場所 (サードプレイス)」であるという考え方は、当社の店舗が、誰もが歓迎されていると感じられる、人とのつながりを持つ場所としてだけでなく、危機の際 (それが地震、ハリケーン、または山火事の直後であろうとなかろうと)、または世界的なパンデミックの最中に再オープンして正常な状態を提供するよう努めている現在の状況で**希望と復活の光**としてもよく利用されていることを意味しています。

以前と変わらず、スターバックスのパートナーは自身のコミュニティに貢献する方法を最もよく知る人々です。現場から知見を得て、地域の決定事項の情報提供に役立つリソースやツールを提供し、パートナーが地域に関連する行動を取ることができるようになると、当社は成功を収めることができます。このアプローチは、世界中のさまざまなマーケットに応じて、日々の COVID-19 の状況を切り抜けるために適用されています。また、



シアトル

現地コミュニティのニーズに対応するために関連するコミュニティサービス活動を定義し、スターバックス財団のアプローチを検討するためにも適用されています。また、世界のコーヒー生産地域にある9か所の当社ファーマーサポートセンターのチームにも適用され、コーヒー農家とそのコミュニティのニーズに応えています。

パートナーの素晴らしい日々の活動のおかげで、私はこれまで以上に楽観的に、この世界規模の難局を乗り越え、グローバル社会にポジティブなインパクトをつくり出すことのできる大きな力をも備えた営利企業として、果たすべき役割へのより深い視座を得て存在を示すことができると考えています。

スターバックスが2021年に50周年を迎えるにあたり、私は毎日次のような考えを心に留めています。ビジネスを大きく発展させるとともに、私たちは、当社の伝統と私たちが目指す姿に忠実であり続けなければならない、と。それは、人々に役立ち、地球にも有益で、利益もプラスになるようにパートナーとして働き、次の50年間に唯一無二の企業のあり方を創出するということです。

社長兼 CEO、
ケビン・ジョンソン



私たちにとって、利益の追求とは

人間らしさを大切にする社会の追求

スターバックスでは、人々に役立ち、地球にも有益で、利益もプラスとなるよう、[Mission and Values](#) を実践し、パートナーとして共に働きながら、唯一無二の企業の創出を目指しています。当社の年次グローバル ソーシャル インパクト レポートでは、サステナビリティのリード、有意義な機会の創出、コミュニティの強化という3つの分野に重点を置いています。これらは当社のビジネスにとって重要な分野であり、当社が大きな影響を与える可能性があることがわかっている分野です。

この概要は、現在までに達成したこと、まだ達成できていないこと、今後取り組むことなど、2019 年度の取り組みを明確に理解することに役立ちます。引き続き[当社の取り組みに参加いただきたい](#)と思います。

OUR MISSION

人々の心を豊かで
活力あるものにするために —
ひとりのお客様、1杯のコーヒー、
そしてひとつのコミュニティから



シアトル



コスタリカのハシエンダ アルサシア コーヒー農園



韓国、テグ



ジョージア州、ジョーンズボロ



ニューヨーク





サステナビリティのリード

当社のサステナビリティの歴史と、よりサステナブルなコーヒーの未来の構築の進捗を拡大し、当社は、今後数十年をかけて地球から奪う量よりも与える量を増やすリソース ポジティブ企業を目指すという目標を2020年1月発表しました。この発表には、2030年までの炭素、水および廃棄物について、科学に基づいた暫定の削減目標が含まれていました。また、環境基準報告書に基づき、使い捨てから再利用可能な容器包装への移行、廃棄物の管理方法の改善など、前進するための5つの戦略が示されました。スターバックス50周年を記念して、2021年春に新たなコミットメントを発表します。

コーヒー & ティー

2019年度の進捗

99% エシカルに調達されたコーヒー

目標: 100% エシカルに調達されたコーヒー

2019年度には5年連続で、当社のコーヒーの99%以上がC.A.F.E. プラクティスに基づきエシカルに調達されたことが確認されました。私たちは常に100%を目指して努力を続けていますが、最後の1%では、最も重要な仕事が発生します。コーヒーの長期的な未来の確保に役立つ新しい農家や協同組合に参加してもらうことです。当社はサステナブル コーヒー チャレンジの一環として、コーヒーを世界初のサステナブルな農産品にし、世界中のコーヒー コミュニティの100万人以上の人々の生活を改善することに継続して取り組んでいます。

4,000 万本 2015 年以降に寄付された木

目標: 2025 年までに1億本のコーヒーの木を農家に提供

スターバックスは、過去4年間にわたり、メキシコ、グアテマラ、エルサルバドルの農家にコーヒーの木を寄贈してきました。これらの気候耐性のある木は、樹齢やコーヒーさび病などの病気のために生産性が低下している木に取って代わり、収穫物の品質と収穫量の改善に役立ちます。2020年6月現在、COVID-19に関連する潜在的な問題を注意深く観察しつつ、さらに1,000万本の寄付が進められています。

99% エシカルに調達されたティー*

目標: 100% エシカルに調達されたティー

当社は、100% エシカルに調達されるティーという目標に向けて継続して取り組んでおり、レインフォレスト アライアンス、UTZ、フェアトレードの認証を受けた農場からティーを調達することで、2018年度の95%から2019年度は99%と大幅な進歩を遂げています。

* スターバックスのグローバル ティー調達チームによる購入

16 万以上 トレーニングを受けた農家

目標: 2020 年末までに20 万の農家をトレーニング

コスタリカのハシエンダ アルサシアにある当社のグローバル アグロノミー センターとファーマー サポート センター、および世界各地にあるその他の8か所のファーマー サポート センターでは、コーヒー農家にオープンソース トレーニングやその他のリソースが提供されています。2019年度だけでも、約88,000の農家をトレーニングしました。

4,600 万米ドル 農家への融資

2,000 万米ドル 2019 年度の緊急救済基金

目標: 2020 年末までに農家に5,000 万米ドルを融資

2020年6月現在、当社はスターバックス グローバル ファーマー フアンドに4,900万米ドルを超える投資を行い、農家を支援しています。これは、世界的なコーヒー価格の低下の影響を受けた中米の小規模農家の大部分に対して2019年度に当社が分散して給付した2,000万米ドルなどの救済基金に追加して実施しています。

66,000 人以上 2018 年以降に支援を受けた女性

目標: 2025 年までに世界中のコーヒー、ティー、ココアの生産コミュニティにおいて25 万人以上の女性と家族を支援

2018年以降、合計500万米ドルを超える18の助成金を通して、スターバックス財団は、アフリカ、アジア、中南米のコーヒーおよびティーの生産コミュニティにおいて、リーダーシップスキル、収入創出活動、健康的な家庭運営などの多くの方法で、女性と家族を支援しています。





サステナビリティのリード

環境に配慮したカップとパッケージ

2019 年度の進捗

12 都市 スターバックスのカップをリサイクルしている主要都市

新しいカップ技術の試用

目標: 2022 年までに、2016 年から 2022 年のカップのリサイクルを倍増させ、100 % 堆肥化およびリサイクル可能なホットカップを開発

2016 年、米国とカナダのスターバックスの店舗の 24 % がリサイクル用のホットカップを採用しました。2019 年には、この数値は 25 % に増加しました。スターバックスが共同創設者である NextGen Consortium が NextGen Cup Challenge 受賞の 12 のカップ技術を選定したことにより、2019 年にはこの活動が加速しました。店内での 市場テスト は 2020 年の春に始まりました。カップは工業的に堆肥化可能で、ホットカップを採用している市場ではリサイクルも可能です。当社は、カップのリサイクルと堆肥化を容易にするカップライナーの研究とテストを続けています。また、コンソーシアムと協力して、リサイクルおよび堆肥化インフラの改善に取り組んでいます。ヨーロッパでは、スターバックスは環境慈善団体の Hubbub と共に意欲的なリサイクル プロジェクトを支援する 100 万ポンドの カップ基金 を立ち上げました。

現在、スターバックスのカップは、アムステルダム、ボストン、チャタヌーガ、ダラス、デンバー、ロンドン、ルイビル、ニューヨーク、サンフランシスコ、シアトル、バンクーバー、ワシントン DC および多くの中小都市でリサイクル用として認められています。

10 % 再生繊維使用率

目標: 2022 年までにホットカップに 20 % のリサイクル成分を使用

現在スターバックスのホットカップには、10 % の再生繊維 (PCF) が使用されています。当社は、リサイクル成分を 20 % に倍増させ、原産の木材繊維を調達することによる環境への影響を軽減することに取り組んでいます (日本では不採用)。

2.8 % 測定対象市場での再利用率

目標: 再利用可能なカップの使用を倍増 (2016 ~ 2022)

2019 年、当社は再利用可能なカップの使用状況を把握する新しい方法を導入し、米国、カナダ、日本、EMEA の直営店舗での再利用率が 2.8 % であることを把握しました。これは、お客様が自分のカップを持参して割引を受けたか、店舗で提供されるセラミック マグを使用し、1 億 500 万個以上の使い捨てカップを節約したことを意味しています。中国はまだこの指標に含まれておらず、現在使用状況把握プログラムを開発中です。ヨーロッパでは、スターバックスは、ロンドンのガトウィック空港で初めて 空港で再利用可能なカップの試用 を実施しました。

当社は、お客様が再利用可能な選択をしてくれるように、継続して研究を行い、戦略を立案していきます。

ストロー不要のリードとサステナブルな材料のストローの継続的な展開

目標: 2020 年末までに世界中の使い捨てプラスチック製ストローを排除

2019 年、スターバックスは冷たい飲み物用の軽量化されたストロー不要のリードと、代替原料のストローの展開を継続しました。2020 年末までに、すべての直営店舗とライセンス店舗の大部分が使い捨てのプラスチック製ストローを排除すると見込んでいます。しかし、COVID-19 による規制上および製造上の問題は、2020 年末までに米国とカナダでのサステナブルな新原料のストローの完全展開を脅かすものであり、新たに想定される目標は 2021 年春となっています。スターバックスは、店舗で ストローを必要としたりご要望されるお客様 に対しては、引き続きストローを提供していきます。





サステナビリティのリード

環境に配慮した小売

2019 年度の進捗

741 店舗 環境に配慮した店舗 (GREENER STORES) の枠組みを反映した世界中の店舗

目標: 2025 年までに世界中で 1 万店舗の環境に配慮した店舗を建設し運営

スターバックスは、世界中で 1,600 以上の LEED® 認証を取得した店舗を建設し、2020 年初頭には、上海ロースタリーが中国本土の食品小売業界で初めて LEED プラチナ認証を取得し、環境に配慮した小売の新しい基準を確立しました。現在、世界自然保護基金との提携やその他の NGO との協力により、LEED の基準を超え、設計、建設、運用に関するオープンソースの環境に配慮した店舗枠組みを利用して、より環境に配慮した店舗づくりに向けて取り組みの範囲と幅を広げています。

14,800 人 グリーナー エプロン パートナー

目標: 2020 年末までに 1 万人のパートナーをサステナビリティの推進役となるように支援

2019 年度には目標を上回り、2020 年 4 月現在では、26,000 人以上のスターバックスのパートナーがスターバックス グローバル アカデミーを通してグリーナー エプロン サステナビリティ トレーニングプログラムに登録しています。



シアトル



シアトル

72 % 再生可能エネルギーを動力源とするグローバル事業の割合

目標: 2020 年末までに世界中のグローバル事業への電力供給を 100 % 再生可能エネルギーとすることに投資

スターバックスは、米国、カナダ、英国にある直営店舗に 100 % の電力を供給する再生可能エネルギーを購入しています。2019 年度には、全世界のスターバックス事業の 72 % が、再生可能エネルギーによる電力供給を受けています。2018 年度の 77 % からは減少していますが、これは、EMEA における再生可能エネルギーの電力供給を受けた直営店舗市場からの移行や、中国や日本のようにスターバックスが再生可能エネルギーへの道筋をいまだ構築中である市場での店舗の増加によるものです。

再生可能エネルギーの購入を進める中で、当社は、太陽光発電所および風力発電所への投資も継続しています。2019 年には、イリノイ州の大規模な風力発電所とテキサス州の太陽光発電所に投資しました。



テキサス州、ウォートン





有意義な機会の創出

創業以来、スターバックスでは、パートナーを第一に考え、誰もが歓迎される文化をつくることを受け継いできました。2019 年には、ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョンに関する当社の継続的な取り組みと、それらが当社のミッションおよび価値観をどのようにサポートしているかを Covington & Burling LLP が評価した [Civil Rights Assessment](#) を発表しました。当社は、この評価に対して毎年[追跡評価を継続](#)し、計画の際にはその提言を再確認しています。当社のエクイティおよびインクルージョンに関する活動は、[こちら](#)で定期的に更新されます。

パートナーへの当社のアプローチは、エクイティおよびインクルージョンの文化の促進に取り組みながら、パートナーの健康、福祉、全体的な成功に投資することにより、有意義な機会を創出することです。このことは、リーダーシップにおいてインクルージョンとダイバーシティに対するコミットメントとアカウンタビリティを確実に示すことを意味します。これは、すべてのパートナーの集団理解を確立し、パートナーが自分の価値や居場所と実感することのできる、よりインクルーシブな職場を醸成することを意味します。これは、あらゆるレベルで、高いエンゲージメント、パフォーマンス、ダイバーシティを備えた従業員を育成し、維持することを意味します。また、機会の均等、賃金の平等、職場での積極的な解決を保証することも意味します。

パートナー

2019 年度の進捗

3,200 以上 14,000 人以上の参加者が
学位取得

目標：2025 年末までに 25,000 人のスターバックスのパートナーがアリゾナ州立大学 (ASU) を卒業する

スターバックス カレッジ アチーブメント プランは、アリゾナ州立大学 (ASU) のオンライン授業を通してパートナーが教育を修了できるように支援しています。当社は、週の勤務時間が平均 20 時間以上のパートナーに 100 % の授業料を返還しており、今後もこの分野をリードしていくことを誇りに思っています。2020 年 6 月現在、[4,500 人以上のパートナー](#)が、2014 年にプログラムが発表されて以来人生初の学士号を取得しています。

当社はまた、[スターバックス グローバル アカデミー](#)を拡張し続けています。これは、スターバックスのパートナー、お客様、コミュニティのメンバー、世界中の学習者のために ASU と協力して作成した世界規模でアクセス可能なプラットフォームであり、ワールドクラスの学習コンテンツを提供し、質の高い教育への障壁を排除するものです。

米国およびカナダの新しいメンタルヘルス構想および家族サポート制度

目標：フルタイムおよびパートタイムの従業員に対する革新的でニーズに合わせた制度でのリーダーシップの継続

スターバックスは、米国のフルタイムおよびパートタイムのパートナーに対する[革新的な制度](#)を提供し続けています。国際的には、パートナーのフィードバックに対する競争力および迅速な対応を維持するために、福利厚生制度のカスタマイズを続けています。

2019 年度に米国およびカナダのパートナーに対して発表され、2020 年度初頭にさらに詳しく公表された新しい[メンタルヘルスイニシアチブ](#)には、メンタルヘルスのニーズを取り巻く悪いイメージを打ち破り、パートナーをそれぞれのニーズを満たす質の高いケアに結び付け、12,000 人のストア マネージャーおよびフィールド リーダーに対して継続的なトレーニングを提供します。2019 年には、さらに米国およびカナダにおける保険の対象とならない代理母出産および人工授精に対する新しい医療費償還制度も発表しました。



カリフォルニア州、ユバシティ





有意義な機会の創出

パートナー

2019 年度の進捗

100 % 米国での賃金の平等の達成率

100 % カナダと中国における賃金のジェンダー平等の達成率

目標：米国および直営店舗市場における世界的に 100 % ジェンダー平等の賃金

賃金の平等はすでに 2018 年度に達成され、2019 年度も引き続き厳格に維持されました。当社は、引き続き、グローバルで賃金平等に取り組んでいます。2019 年には、世界中の女性の賃金の中央値は男性の中央値の 98.3 % でしたが、米国では、賃金の中央値は女性が 100 %、有色人種が 100 % でした。

米国では、Employers for Pay Equity コンソーシアムに参加するスターバックスと他の米国企業 25 社が、2019 年に賃金平等の原則 (Pay Equity Principles) を共有して取り組むことに合意しました。当社は、これらの原則をサポートする米国のベストプラクティスとなっており、今後はグローバルにおいてもベストプラクティスとなるよう取り組んでいます。

42 % シニア リーダーシップにおける女性の割合

17 % シニア リーダーシップにおける有色人種の割合

目標：シニア リーダーシップの女性の割合 50 %、2015 年以降の有色人種の割合 50 % 増

スタッフ リーダーに関する目標に加えて、現在の当社の取締役会の女性構成比率は 38 % であり、そのうち 4 人はマイノリティです。スターバックス初のインクルージョン & ダイバーシティ部門グローバル責任者となるンジンガ・ショー氏は、2019 年 11 月に採用されました。スターバックスの Civil Rights Assessment の更新で、当社は初めてすべての役職を対象とした新しい表示目標を定めています。最低目標は、2025 年までに、販売職全体における有色人種の割合が 40 % かつ女性の割合が 55 %、企画職全体における女性の割合が 50 % かつ有色人種の割合が 30 % です。

175,000 人 2018 年以降、アンチ バイアス教育に参加したパートナー

目標：インクルージョンとダイバーシティの認識の醸成

2019 年 1 月のスターバックス Civil Rights Assessment に従い、当社は、いくつかの提言を実施し、計画の際には引き続きそれらを再確認しています。2019 年度、当社は、誰もが居場所と感じられるサードプレイスを大切にするという方針を公表し、グローバルアカデミーに「To Be Welcoming」という新しい項目を立ち上げました。これは、人々の体験を理解することを通して偏見に対処するために設計された、15 コースのオンライン カリキュラムです。このコースは、お客様も利用できます。



ジョージア州、ジョーンズボロ





有意義な機会の創出

コミュニティ

2019 年度の進捗

61,000 人以上 オポチュニティ ユースの雇用

目標: 2020 年末までに 10 万人のオポチュニティ ユースを雇用

これらの雇用コミットメントは、雇用の壁にぶつかる可能性のあるコミュニティから新しいパートナーを迎えることを目的としています。2019 年度のオポチュニティ ユースの雇用は、特定済みの技術エラーにより 2018 年度からは減少しました。

28,000 人 退役軍人と軍人配偶者の雇用

目標: 2025 年までに 25,000 人の退役軍人および軍人配偶者を雇用

当社は、軍人雇用目標を 6 年前倒しで達成し、毎年 5,000 人の退役軍人と軍人配偶者を雇用するという新たな目標を設定しました。軍人雇用コミットメントの詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

2,100 人 難民の雇用

目標: 2022 年までに世界中で 1 万人の難民を雇用

当社は、継続的に他の雇用主と協力してベストプラクティスを共有し、難民支援団体とのパートナーシップを構築しています。スターバックス EMEA (ヨーロッパ・中東・アフリカ) では、現地の NGO と協力して、地域内の 12 か国で難民を雇用しています。

75 億米ドル 2000 年以降多様なサプライヤーとの取引金額

目標: 高品質な製品やサービスを提供しながら、スターバックスがサービスを提供しているコミュニティの経済発展を促進

スターバックス サプライヤー ダイバーシティ アンド インクルージョン プログラムでは、当社のサプライチェーン全体で、能力のある女性、マイノリティ、障害者、退役軍人、LGBTQ が所有者であるサプライヤーおよび小規模 (8(a) および HUBZone) サプライヤーの採用を推進しています。これらの取り組みを継続するために、あらゆる規模のサプライヤーに焦点を当て、スターバックスのサプライヤーとして成功できるまでこれらの会社が発展することを支援するための指導要素も加えています。



フロリダ州、クレストビュー



ニューヨーク



ダラス





コミュニティの強化

スターバックスでは、私たちは店舗の受け入れ地区であるかコーヒーを栽培している地域であるかなどにかかわらず、話を聞いたり、サポートしたり、投資したり、向上させたりと有意義な方法で、コミュニティを強化するために行動しています。2019 年度後半、スターバックス [リーダーシップ エクスペリエンス](#)で、当社は米国とカナダの 12,000 人のストア リーダーがスターバックスのグローバル ソーシャル インパクト プライオリティに沿い、地域に関連する方法でコミュニティに貢献できるように支援するための、新しいリソースとツールを公表しました。これは、特に COVID-19 のパンデミック期に成功し、[こちら](#)から事例を見ることができます。

コミュニティ サポート

2019 年度の進捗

16 店舗 コミュニティ ストア

目標：2020 年末までに、米国の 15 の多様な低所得から中所得層の都市コミュニティにコミュニティストアをオープン

当社は、世界中で 16 のコミュニティ ストアに出資しています。米国に 14 店舗、韓国に 1 店舗、タイに 1 店舗です。そこでは、コミュニティ特有の追加のサービスとリソースを提供しています。米国では、2019 年度にダラス、アラバマ州バーミングハム、ジョージア州ジョーンズボロに新店舗がオープンし、2020 年初頭には、2025 年までに [100 店舗の運営](#)とコミットメントが拡大されました。

65 店舗 米国の軍人家族の店舗

[軍人家族の店舗](#)では、現役の軍人およびその配偶者とコミュニティをつなげるあたたかい空間が生み出されています。

3 店舗 世界中のサイニング ストア

[サイニング ストア](#)は、聴覚障害者に雇用機会を提供し、そのコミュニティ内でのつながりを強化することを目的としています。

1,500 回以上 2017 年以降スターバックスの店舗で開催された、コーヒーウィズ ア コップ (警官) イベント

目標：法執行機関や初期対応者との関係構築により、対話、共感、より強い地域を促進

法執行機関との信頼関係を築くことは、店舗の歓迎的で安全な環境を維持するうえで重要な要素です。スターバックスは、全国的な組織との提携や、双方向の [コーヒー ウィズ ア コップ \(警官\)](#) イベントを通じて、法執行機関との関係と信頼を築き続けています。

2,000 万食以上 米国で寄付された食品、対象となる店舗の最大 60% が参加

目標：米国のすべての直営店舗で寄付できる食品を 100% 救済

フィーディング・アメリカと連携して 2016 年に開始された米国のスターバックス フードシェア プログラムでは、未販売の対象食品を包装し、フードバンクやモバイル パントリーに食事を提供しています。2020 年 6 月現在、当社は 2,500 万食以上の食事を寄付しており、最近では [フードバンクのニーズ](#)が増加するにつれて、急増しています。このプログラムの規模を拡大するにつれて、傷みやすい食品の継続的な提供に関する多くの物流上の課題から学び続けています。

国際的には、2019 年度にカナダで開始したフードシェアや EMEA 内の 13 か国での食品廃棄物プログラムなど、同様のプログラムがいくつかの市場に存在します。



サンアントニオ





コミュニティの強化

スターバックス財団

2019 年度の進捗

サービス フェロー プログラムの開始

目標: 革新的なコミュニティ サービス モデルをテスト

2019 年度のテストに成功した後、当社はスターバックス財団サービス フェロー プログラムを拡張しました。同プログラムでは、20 都市の 100 名のスターバックスのパートタイムのストア パートナーが、毎週店舗で 20 時間勤務すると同時に、現地の非営利団体で 20 時間活動しています。このプログラムは、支援を必要とするコミュニティで触媒的役割を果たし、スターバックスのパートナーに現地の非営利団体から知識を共有してもらい、コミュニティに貢献する機会を提供しています。



カリフォルニア州、サンタクルーズ

1,600 万米ドル 助成金

目標: 現地コミュニティの強化

スターバックス財団は、2019 年度に、約 1,600 万米ドルの次のような助成金を提供しました。

- 災害救援に 100 万米ドル
- 米国とカナダにおける、合計 70 万米ドルを超える約 500 の近隣助成金
- 63 件のオポチュニティ フォー オール グラントに合計 140 万米ドル
- ホリデー期間のキャンペーンで得た 200 万米ドルを 8 つの非営利団体に寄付
- [原産地助成金](#)、詳細は [5 ページ](#)に記載

国際的には、スターバックス財団は、ヨーロッパの難民雇用プログラムから、複数の中南米市場におけるアルセア財団と提携した若年層中心の助成金まで、機会を促進するプログラムに投資しました。

米国では、スターバックス財団は、米国赤十字社と提携して、2019 年度の米国対応での災害準備、対応、復旧を支援しています。これには、ハリケーン ドリアン、エルパソとデイトンでの銃乱射事件への対応が含まれます。

スターバックス財団の近隣助成金は、持続的に地域へ影響を与えることに役立ち、コミュニティで活動する非営利団体でのパートナーのボランティア活動を促進しています。このプログラムは 2019 年度に開始され、数百人のストア マネージャーに、コミュニティにとって有意義な現地の非営利団体を推薦するように促しました。同様に、スターバックス財団は、グリーナー エプロン認定を受けたパートナーが提出した複数の環境保護団体に対して、グリーナー エプロン助成金を与えました。

スターバックス財団のオポチュニティ フォー オール グラントは、壁にぶつかる可能性のある人々のための仕事やトレーニングの機会を創出する、生涯にわたる機会やプログラムへの道を作る組織の支援に役立っています。

スターバックス財団は、[マッチ ザ マジック](#) キャンペーンを通して、お客様の寄付を 8 つの非営利団体のパートナーに結びつけ、ホリデーシーズンを祝いました。



このレポートについて

範囲

2019 年度のグローバル ソーシャル インパクト レポートでは、サステナビリティのリード、有意義な機会の創出、コミュニティの強化という、3 つの主要なソーシャル インパクト分野の目標に焦点を当てています。こうした取り組みは当社の事業に直接結びつくものなので、財務、コーポレート ガバナンス、職場とダイバーシティのポリシーおよびパフォーマンスに関して stories.starbucks.com および starbucks.com で公開されている情報や資料へのリンクも含まれています。

スターバックスは、国連の持続可能な開発目標に取り組んでおり、これらの目標を当社のソーシャル インパクト プログラムや他者との連携を映し出すものとして活用しています。当社のステークホルダーのエンゲージメントの取り組みに基づき、これらの分野は、お客様、パートナー、非政府組織 (NGO)、投資家の皆様にとっても重要であると考えています。

レポートの年度

別途記述がある場合を除き、スターバックスの 2019 会計年度 (2018 年 10 月 1 日から 2019 年 9 月 29 日まで) を指します。

通貨

別途記述がある場合を除き、すべての通貨の単位は米国ドルです。

過去のレポート

スターバックスでは、2001 年から毎年グローバル ソーシャル インパクト レポートを作成しています。[過去の年次レポート](#)は、当社のウェブサイトですぐ入手できます。また、ダウ ジョーンズ サステナビリティ インデックスやカーボン ディスクロージャー プロジェクトの年次炭素排出量レポートなど、業界で広く認知されている主要なレポートにもパフォーマンスとデータを提出しています。

情報の整合性

2019 年度に報告された情報の準備と整合性に関する責任は、スターバックスの経営陣にあります。社内の特定領域専門家が関与する包括的な検証プロセスなどの内部統制のシステムを経たこの情報は、会計年度の当社のグローバルに責任ある活動およびパフォーマンスを正確に表したものであると考えています。指定された指標に対する社外の検証は、Moss Adams LLP により実施されました。

将来の見通しに関する記述

2019 年度のグローバルな責任に関する当社のレポートには、当社の事業および今後の事業計画、イニシアチブ、目標、目的についての将来の見通しに関する記述が含まれます。こうした将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な業務情報、財務情報、および競合情報に基づくものであり、多くの重大なリスク不確実性に左右されます。実際の将来の業績は、COVID-19 が事業運営に与える影響、COVID-19、コーヒー、乳製品その他の原材料の価格や供給状況の結果として実施される可能性のある規制措置や自発的行動、成長戦略およびその他の戦略を弊社の計画どおりに実施できたかどうか、コスト削減やその他のイニシアチブ、ならびに当社が証券取引委員会に提出した報告書 (2019 年 9 月 29 日までの会計年度についてまとめたスターバックス年次報告書様式 10-K 「リスク要素」 セクションおよび 2020 年 3 月 29 日までの四半期についてまとめたスターバックス四半期報告書様式 10-Q を含む) で説明するその他のリスクなど、さまざまな要素によって大きく異なる可能性があります。当社には、これらの将来の見通しに関する記述を更新する義務はありません。

最新の情報を把握

Twitter で [@starbucksnews](https://twitter.com/starbucksnews) をフォローして、最新の情報を確認してください。

